

大阪市 中教研会報

No. 149

編集者

大阪市立中学校教育研究会

発行人

大阪市立中学校教育研究会

会長 大政和彦

発行所

大阪市立中学校教育研究会

大阪市立宮原中学校

TEL 06-6394-2455



『共に創る、未来の大阪市の教育』

大阪市教育委員会事務局 指導部

指導部長 中道篤史

大阪市立中学校教育研究会におかれましては、平素より、本市中学校教育の推進に多大なるお力添えを賜り、誠にありがとうございます。

会員の先生方におかれましては、各教科・領域での理論の構築と教育内容の調査・研究ならびに授業実践等に取り組まれるとともに、本市中学校教育の充実・発展に大きな役割を果たしていただいております。改めて、そのご功績に深く敬意を表しますとともに、心より感謝申しあげます。

現在、国において次期学習指導要領の策定に向けた議論と共に、「令和の日本型学校教育」の実現をめざした取組が進められております。急速に変化する社会に対応するため、生徒一人一人が自ら課題を見つけ、協働して解決する力を育成することが重視されており、そのためには授業改善や教育課程の充実が不可欠です。

また、学校教育を支える基盤として、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成が一層求められております。

こうした国の動向を踏まえ、本市におきましても、令和4年度から開始した現行「大阪市教育振興基本計画」の後期取組期間（令和8年度～令和11年度）における計画の策定作業を進めております。

令和7年7月29日に開催されました令和7年度第1回大阪市総合教育会議では、本市教育の現状と課題について協議を行い、次期計画に向けた方向性として、特に次の3点を確認いたしました。

- ・外国につながる児童生徒等（保護者を含む）への支援
- ・学力向上事業の再構築
- ・働き方改革（働きがいを高め、教職の魅力を高めるための総合的な取組）

次期計画では、国の第4期教育振興基本計画や中教審議まとめの趣旨も踏まえながら、「一人一人のウェルビーイングの向上」や「持続可能な社会の創り手の育成」を見据えた施策を推進してまいります。

また、子どもたちが心身ともに健やかに成長し、多様な価値観を尊重しながら協働できる力を育むため、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」といった「認知能力」だけでなく、「学びに向かう力・人間性等」といった「非認知能力」についてもバランスよく育成するとともに、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを支える学びの環境づくりを推進してまいります。

大阪市立中学校教育研究会におかれましては、令和7年度研究テーマとして「持続可能な未来社会の創り手となる資質・能力の育成－ウェルビーイング・探究学習・総合的読解力－」を掲げられており、こうしたテーマに基づく様々な取組は、本市の教育の方向性とも深く連動するものです。

若手や中堅の先生方が先進的な実践を学び、現場に生かすとともに、経験豊富な先生方の知見を継承・共有することで、世代を超えた知見交流と協働の拠点として大阪市立中学校教育研究会がさらに発展することを期待しております。

教育委員会といたしましては、「大阪市教育振興基本計画」に即した教育活動の推進に向け、引き続き大阪市立中学校教育研究会との緊密な連携を図るとともに、教育ブロック担当指導主事やスクールアドバイザーなどによる、教員の授業力向上への支援も継続してまいります。

また、各校が多様な知識・経験を持つ人材との連携や、当該人材を組織内に取り入れることにより、社会のニーズに対応しつつ、高い教育力を持つ組織となるための大学連携にも努めてまいります。

最後になりましたが、大阪市立中学校教育研究会のますますのご発展を祈念するとともに、教員の研究活動のさらなる活性化を通じて、「自ら学ぶ力」を育み、創造性豊かな個性あふれる子どもたちの育成をお願いいたします。



ウェルビーイングにつながる 研究発表会をめざして

大阪市立中学校教育研究会

副会長 松田光平

(豊崎中学校)

大阪市立中学校教育研究会の会員の皆様には、平素より本研究会の活動にご理解いただき誠にありがとうございます。

さて、本研究会の最も大きな行事であります全市研究発表会（令和7年10月8日）が近づいてまいりました。（今年度は社会部、美術部、保健体育部、生活指導部は別日に実施）

この全市研究会は年に一度先生方による研究の成果を発表する場であるとともに、普段自分が行っている授業を含めた様々な教育活動を他者の実践と比較したり、意見交換ができる貴重な場であると考えます。

私たちは「主体的・対話的で深い学び」や「探究学習」などよく聞くキーワードを意識して授業を行っています。しかしこれらの言葉を具体的にどのように授

業に取り入れるかは、先生方によってそれぞれ手法や考えが異なってくると思います。自分が考えていることがはたして正しいのかどうか。一人で考えていると迷ってしまうこともしばしばです。

そんな時様々な先生方の実践や抽象的な言葉を具現化した取り組みを知ることは、自身の取り組みを振り返るだけでなく、これからどのような工夫をすればよいのか、その方向性がしっかりと定まつてくるのではないか。その方向性がしっかりと定まつてくるのではないか。

ぜひ全市研究会にご参加いただき教科・領域に関する視野を広め専門的な知識を深めるとともに、大阪市の多くの先生方と交流することで、明日からの教育活動の元気の源にしていただきたいと考えています。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

新ブロック委員長のあいさつ

=第1ブロック=

「変化の時代をしなやかに生き抜く力の育成」
—探求と共創で未来を拓く教育実践—

委員長 鍋谷賀都緒（市岡東中学校）

昨年度のブロック研究発表会では、関係者の皆様のご尽力のおかげで盛会のうちに終えることができました。運営に携わってくださった先生方、ご参加くださった先生方に、この場をお借りして心より感謝申しあげます。

さて、今年度の研究主題を上記のようにいたしました。A I の進化やグローバル化が加速する現代において、子どもたちが未来を切り拓く力を育むことは、我々教育者の喫緊の課題です。

文科省が示す「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」は、まさに本主題の根幹をなすものであり、大阪市教育振興基本計画においても、探究的な学習やSTEAM教育の重要性が強調されています。

これらの理念に基づき、子どもたちが自ら問いを立て、多様な人々と協働しながら、新たな価値を創造できる実践事例を共に探求していきたいと考えます。活発な議論と情報交換を通じて、実り多き一年となることを心より願っております。

=第2ブロック=

「学び合いのある授業づくりのために」

委員長 稲谷哲也（緑中学校）

主体的で、協同的な学びを育む教育の創造～「つながり」を生かした学びの場を通して～を研究主題とし、各教科・領域の専門委員の先生方がリーダーシップを発揮して研究活動を進めてきました。

去る8月27日(水)のブロック研究発表会では、報告された先生方の貴重な実践例や、講師の先生方の示唆に富んだお話を拝聴し、熱心な研究討議を通して、翌

日からの教育活動や研究活動に生かせる多くの気づきと、早く子どもたちに還元したいと思える学びを得ることができました。

目指す学びの場を実現するためには、多様性を認めることも子どもたちが集い、教室が問い合わせを聞き合える優しい空間でなくてはなりません。今後も研究が進みますよう、よろしくお願ひします。

=第3ブロック=

「新しい学びを創造し、子どもたちの可能性を引き出すために」

委員長 脇田将明（大正北中学校）

第3教育ブロックでは、今まで取り組んできた「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業改善に加え、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化をめざした教育実践に取り組んでいます。一人ひとりの興味・関心や理解の進度に応じた学びは、生徒の主体性を引き出し、学びに向かう意欲を高めます。

一方で、多様な他者と意見を交わしながら学ぶ協働的な学びは、思考を深め、社会性や課題解決能力の育成につながります。これらを相互に関連づけることで、

生徒は自らの学びを自覚的に捉え、他者との関わりを通してより深い理解へとつなげていきます。

第3教育ブロック研究会では、ICTの活用や授業改善を通して、誰一人取り残さない、学びの質の向上に努め、生徒の可能性を最大限に引き出す教育の実現をめざし、全教職員が取り組んでまいります。今後とも子どもたちの資質・能力の向上にご尽力賜りますよう、お願い申し上げます。

令和7年度 大阪市立中学校教育研究会 評議員会記録

【第3回】 令和7年7月7日(月) 16:00～
〈於：大阪市総合教育センター 10階研修室〉

評議員会及び会計説明会

<会計説明会>

- (1) 令和7年度 会計予算・執行・決算について
- (2) 資金移管日時等について
- (3) 教育センター直接執行分について

<評議員会>

- (1) 全市研究発表会・ブロック研究発表会について
- (2) その他
 - ① 役員、専門委員一覧表について
 - ② 全国・近畿大会予定について
 - ③ 部門別研究主題、ブロック別研究主題及び研究発表会予定日一覧について
 - ④ 中教研会報No.148号の原稿作成について

【第4回】 令和7年8月25日(月) 16:00～
〈於：大阪市総合教育センター 9階研修室〉

- (1) 全市研究発表会【10月8日(水)】について
- (2) ブロック研究発表会について
- (3) 研修計画について 27
 - ① 全体研修会【11月20日(木)】15:30～17:00
 - ② 評議員研修会【1月23日(金)】16:00～17:00
- (4) 研究集録『研究の歩み』『会報』の作成について
- (5) 小中一貫教育について
- (6) その他
 - ① 会計事務連絡
 - ② ホームページについて
 - ③ その他

令 和 7 年 度 研 究 発 表 会

10 月 8 日 (水) 14:00 ~ 17:00

| 部 門 | 研 究 主 題 | 内 容 | 会 場 |
|-----------------------------|---|---|--------------------------------|
| 1. 国 語 | 『生きる力』としての 国語力の育成 - 自分の思いや考えを深める 言語活動の充実 - | ・公 開 授 業 『セミロングホームルーム』 -主人公は一体誰なのか？物語の行間を楽しもう- 花乃井中主務教諭 青 山 佳 代 ・研 究 協 議 ・講 演 大阪教育大学 教授 住 田 勝 様 | 花乃井中 |
| 3. 数 学 | 「未来を創造する数学の 主体的・対話的で 深い学びをめざして」 | ・公開授業・授業研究報告 1年 「データの分析と活用」 東三国中 速 見 綾 2年 「1次関数」 田 島 中 植 本 義 明 3年 「関数 $y = ax^2$ 」 歌 島 中 内 藤 成 美 ・講 演 「これから求められる算数・数学の授業づくりについて」 熊本大学 大学院 教育学研究科 准教授 吉 村 昇 様 ・講 評 大阪市総合教育センター 指導主事 鵜 飼 健 悟 様 | 梅 南 中 |
| 4. 理 科 | 「理科の見方・考え方を 働かせて、未来を創造 する資質・能力を育む 理科教育」 | ・公 開 授 業 「天気を捉える多様な学習方法」 4章 大気の動きと日本の四季 3節 天気の変化がもたらす恵みと災害 桜 宮 中 渡 辺 大 雅 平 山 真 也 小 野 裕 司 ・研究協議・質疑応答 等 本日の公開授業について 桜 宮 中 渡 辺 大 雅 平 山 真 也 小 野 裕 司 ・指 導 助 言 大阪市総合教育センター 調査分析 指導主事 山 内 隆 弘 様 ・報 告 事 項 ・実験器具活用講習会 | 桜 宮 中 |
| 5. 音 楽 | 「音楽的な見方・考え方を働かせ、 感性を育む音楽教育」 -主体的・対話的で 深い学びの実現に向けて- | ・公 開 授 業 「曲想の変化を生かして、歌唱表現を工夫しよう」 中之島中 姜 惠 貞 ・研 究 协 議 ・指 導 助 言 大阪教育大学 藤 本 佳 子 様 指導主事 乾 正 義 様 ・あ い さ つ 大阪市教育委員会 | 中之島中 |
| 8. 技 術 ・ 家 庭 | 「よりよい生活・社会を創造する 技術・家庭教育」 ~主体的に問題解決に取り組み、 最適解を導き出す生徒の育成~ | ・公 開 授 業 【技術分野】 「センシングを取り入れたスプラウト栽培」 墨江丘中 水 谷 研 斗 ・研 究 発 表 【家庭分野】 「我が家への安全で快適な住空間の整え方、住まい方の工夫」 ・研 究 协 議 ・指 導 助 言 大阪市総合教育センター 指導主事 橋 本 航 様 仲 西 優 子 様 | 墨江丘中 |
| 9. 英 語 | 「4技能5領域の 総合的な能力向上」 ~2025大阪万博でコミュニケー ションが取れる生徒の育成 をめざして~ | 「がんばる先生支援事業」研究発表会 ・研 究 授 業 "Reading for Communication" ～ジグソーリーディングとリテラチャーサークルの活用～ 東 中 渡 辺 尚 也 ・研究授業の振り返り ・講 演 「生徒が夢中になるリテラチャー・サークルのすすめ」 愛媛大学 教育学部 教授 立 松 大 祐 様 ・質 疑 応 答 ・あ い さ つ 大阪市総合教育センター 指導主事 太 田 有 紀 様 | 東 中 ※各自上履き をご持参く ださい。 |

| | | | |
|-----------------------------------|---|---|---|
| 10. 道 徳 | 「多面的・多角的な視点で考え、議論する道徳教育の創造」 － グループワークを取り入れ言語力を育てる道徳科授業づくり－ | ◦ 公開授業 「名乗り出なかった友」 日本文教出版 あすを生きる2 中学校2年⑧ 難波中 玉守康成 ◦ 研究協議 ◦ 質疑応答 ◦ あいさつ 大阪市総合教育センター 教育振興担当 基本研修グループ 指導主事 田邊宜雅様 | 難波中 |
| 11. 特 別 活 動 | 「生徒一人ひとりが主体的に生きる特別活動の創造」 社会的・職業的自立に向けて必要な基盤とする基礎的・汎用的能力を育成するキャリア教育 ～産官学連携・異学年交流を取り入れたカリキュラムの構築～ | 「がんばる先生支援事業」研究発表会 1. 【キャリア教育】 ◦ eスタジアムなんばキャリア教育体験・施設見学 講師 南海電鉄グループ eスタジアム経営企画室地域支援室長 山本和幸様 ◦ その他 OENの職場体験・講師の紹介 大阪市総合教育センター OEN担当指導主事 山本昌平様 ◦ 全国進路指導・キャリア教育研究大会報告 白鷺中 教頭 江角俊幸 2. 【生徒会活動】 ◦ ブロック別生徒会交流会報告 ———— 時 程 ———— 1. 挨拶・研究主題 2. 全国進路指導・キャリア教育研究大会報告 3. ブロック別生徒会交流会報告 4. OENの職業体験・講話紹介 5. eスタジアムキャリア教育体験・施設見学 6. 研究討議 7. 指導助言 8. 挨拶・アンケート | eスタジアム なんば |
| 13. 特 別 支 援 教 育 | 「子どもたち一人一人が、共に学びに向かい生きる力を育む教育をめざして」 | ◦ 研究発表 ◦ 問題行動のある子どもへの支援 ～子どもと支援者にとってのバリアとは～ 2B 葦中 森脇敬太 ◦ 新北野中学校の通級指導の様子 1B 新北野中 澤田武志 ◦ 質疑応答 ◦ 研究協議 ◦ 指導助言 ◦ 諸連絡 大阪市教育委員会 | 花乃井中 (各校へオンライン配信) |
| 14. 保 健 養 護 | 「養護教諭の専門性と資質の向上をめざして」 | ◦ 第1教育ブロック (a此花区・港区・西淀川区) 共同研究 「誰もが安全安心な学校生活を送るために ～養護教諭だからこそできる！性の多様性に関する視点から～」 西淀中 岡本柚子 港南中 山下真依 ◦ 研究協議 ◦ 指導講評 大阪市教育委員会 指導部 保健体育担当 保健体育グループ 指導主事 鈴木真美様 | 大阪市総合 教育センター 14:45 開始 保健養護部員のみ参加 |
| 15. 教 育 メ デ イ ア | 「『生きる力』と『感動する心』をはぐくむ教育メディアの研究」 －学校図書館教育、放送・視聴覚教育を通して－ | ◦ 授業研究報告 「授業時における生成AIの効果的な活用」 淡路中 乃一潤耶 ◦ 指導助言 大阪市総合教育センター 教育振興担当 (ICT推進G) 指導主事 児玉紘様 ◦ 講演 講師 姫路大学 津下哲也様 | 淡路中 |

10月8日の全市研究発表会以外の日に実施された又は実施される部門

11月13日(木)・14日(金)

| | | | |
|--------------|--|--|---|
| 2. 社 会 | 「一人ひとりの未来につながる社会科の創造」 ～問い合わせ・探究、そして参画へ～ | ◦ 基調提案 「一人ひとりの未来につながる社会科の創造～問い合わせ・探究、そして参画へ～」 長吉西中 川村由美子 ◦ 記念講演 「アフター万博におけるこれから外食産業」 千房株式会社取締役社長 中井寛二様 ◦ ビデオ視聴と解説、授業実践 地理的分野「アフリカ州」 大桐中小谷彩花 ◦ 公開授業 歴史的分野「大正デモクラシーの時代」 大正中央中 寺井和弘 ◦ 公開授業 公民的分野「消費」 天王寺中 大島翔太 ◦ 研究協議 | 興国高校 (11月13日) サンスクエア堺 (11月14日) 興国高校 (11月14日) 天王寺中 (11月14日) |
|--------------|--|--|---|

11月13日(木)・14日(金)

| | | | |
|--------------|--|--|--------------------------------|
| 6. 美 術 | <p>【大阪大会テーマ】 ええ感じ！笑顔輝く おおさかの美術教育 ～自分らしく学び続ける わたしたち～</p> <p>【中学校テーマ】 それええやん！ひら めき、未来につなげ よう</p> | <p>令和 7 年度（2025年度） 第75回 造形表現・図画工作・美術教育研究全国大会大阪大会 【11月13日(木)】 。公開授業 「社会つながる魅力あるステッカーをデザインしよう～職場体験学習通过对～」 日本橋小中一貫校 戸波恭輔 。研究発表 「大阪市立中学校教育研究会美術部の取組・研究組織のあり方について」 天王寺中 田溝真樹 。研究協議 。講演・指導講評 京都市教育センター 東良雅人様 。公開授業 「美術館を活用した鑑賞授業」 東淀中 似内達吉 。研究協議 。指導講評 大阪教育大学 准教授 渡邊美香様 【11月14日(金)】 。全体会</p> | 日本橋小中一貫校 |
| | | | 国立国際 美術館 ドーン セントー |

11月 21 日(金)

| | | | |
|------------------------|---|---|--------------------------------------|
| 7. 保 健 体 育 | <p>「異学年交流を通じ学習意欲を引き出し学びの質を高める」 —ハンドボールの指導方法の研究—</p> | <p>。公開授業 「ハンドボール」 東三国中 坂下友一 。研究報告 。研究協議 。指導講評 大阪教育大学 准教授 井上功一様 。指導助言 大阪市総合教育センター 指導主事 星見頼彦様</p> | 東三国中 受付 13時30分 開始 14時00分 |
|------------------------|---|---|--------------------------------------|

11月 7 日(金)

| | | | |
|-------------------------|--|---|---|
| 12. 生 活 指 導 | <p>「多様な学びの場の実態と効果に関する研究」 ～不登校生徒の学びを支える新たな選択肢の探求～</p> | <p>。校内見学 心和中学校内 。講演 1. 心和中学校の現状と今後について 心和中学校 盛岡栄市校長 2. 登校支援「なごみ」の運営と大阪市の不登校支援について 大阪市教育委員会 指導部 生活指導グループ 首席指導主事 小野寺 健様 。研究協議 。あいさつ</p> | 心和中 見学 受付 13:30 開始 13:50 講演 受付 14:30 開始 14:45 |
|-------------------------|--|---|---|